

## 東北師範大学における遠隔教育の現状

(出典 東北師範大学遠隔学院 2005年)

### 一、中国における遠隔教育の概況

#### (一) 高等成人の継続教育のため

1952年、国家主席劉少奇の承認を受け、中国人民大学で財政と経済分野での成人継続教育の実験が始まった。経済、財政、工業管理などの10種類の専門科目が設置され、初めて北京、天津、太原三つの市の学生2765人が募集され、中国高等成人継続教育がスタートしたことになる。

それ以来、高等成人継続教育は中国の遠隔教育の主な形態として、在職人員の学歴と職業能力の向上のために主な役割を果たしてきた。2002年度の学生募集数は82万人で、全国各種の成人高等学歴教育における学生募集数の39.05%を占めている。

#### (二) ラジオ・テレビ教育

1955年、北京、天津などの都市でラジオ成人継続学校作りを試みたが、その後発展することができなかった。

1960年、北京、上海、天津、広州、沈阳、長春、ハルビンなどの大都市で地域内学生向けのラジオ・テレビ大学が相次いで創設されたが、「文化大革命」に入って中断され、1979年に再び学生募集が復活した。ラジオ・テレビが主な教育手段とされると同時にテキストと合わせた授業が補助的手段とされた。主に高等学歴教育、非学歴教育、聴講生登録などの養成モデルがあった。

ラジオ・テレビ教育は5つのレベルのネットワークで形成されている。1998年現在、中央ラジオ・テレビ大学を中心とし、44の省レベルラジオ・テレビ大学、814の市レベルラジオ・テレビ大学、1742の県<sup>1</sup>レベルラジオ・テレビ大学、17076の地域レベルラジオ・テレビ大学を有し、世界でいちばん莫大なラジオ・テレビ教育システムを形成している。

#### (三) ネットワーク教育

1977年、清華大学、湖南大学、浙江大学、北京郵便・電信大学四つの大学で同時にネットワーク教育の実験が始まった。

<sup>1</sup>：行政区画の単位の一つで、省・自治区・市の下に位置する。

1998年8月、国家教育部は北京で初めて高等教育機関現代遠隔教育工作検討会を開き、清華大学、湖南大学、浙江大学、北京郵便・電信大学が中国現代遠隔教育の研究開発校に決められた。翌年一ヶ所が増え、その後相次いで増やされた。具体的には以下の表のようになっている。

年 数量	1999	2000	2001	2002	2003	2005
研究開発校数	5	31	45	67	68	68
学生登録数	32000	185000	456000	675000	949000	920000
校外学習処数			966	2012	2347	2347

#### 68 研究開発校の種類と構造

類別	総合	理工	師範、外国語、芸術	経済、貿易交通	農、林、医地、礦、油	その他
割合	28%	25%	17%	11%	13%	6%

#### (四) その他遠隔教育機関と組織

##### 1. 全国教師教育ネットワーク同盟

国家教育部の支持を受け、2003年に設置された在職教師教育組織システムである。教師現代遠隔教育を実施する高等教育機関とその他の教師教育を実施・支持する関連機関が作り上げた。教師教育システム、衛星テレビ網、インターネットを有効に利用し、質の高い教育資源の教師学習型協同組織である。インターネットを通じて学生を募集し、農村の教師教育を推し進めている。

##### 2. 奥鵬公共サービスシステム

国家教育部によって設立され、中央ラジオ・テレビ大学の技術・管理システムに委託され、企業化経営を実行する全国遠隔教育活動に向けての公共サービスシステムである。現在、全国15個あまりの高等教育機関がこのシステムを利用している。奥鵬が提供する教学と運営システムは現代遠隔教育の日常の教学と運営の任務を果たすことができる。

##### 3. 全国小中学校教師継続教育ネットワーク

2002年国家教育部師範司によって設立され、東北師範大学をはじめとする全国15の省レベル教育学院と関連部門が参加した教師継続教育ネットワークシステムである。

4. いくつかの普通高等教育機関によって作られ、本校の専攻及び特色のある学校作りを表わす遠隔教育プロジェクト

5. いくつかの通信サービス業と学校が協同で展開する遠隔教育プロジェクト

## 二、東北師範大学遠隔教育の概況

### (一)、高等師範学院成人継続教育

東北師範大学は、中国で有名な教育家である成仿吾氏が1952年東北大学を改名し、設立した。その翌年から学生を募集し始め、彼は中国の現職教員研修を提唱し、東北師範大学第1期の校長である。

50年以来、本大学は基礎教育のために貢献する学校運営方針と質の高い教育を行うことを最大の主旨とし、「全員が成人継続教育のために」という教学とサービスシステムを作ってきたのである。そして東北地方（及び全国）で5万人余りの現職教員研修（学歴研修）を果たし、社会的信用と良い評判を得ている。

### (二)、ネット上の学歴教育

#### 1、学部及び学员

本大学は、全国68ヶ所の現代遠隔教育研究開発校の一つと12の「教師ネットワーク」中心機関の一つで、国家教育部の許可を得て、2003年から事業を始めた。現在、国語など8つの本科学部と3つの専科学部を合わせて2万人が在学している。

#### 2、管理体制

校外的には、学校ネット上の教育は奥鹏公共サービスシステムに委託している。学生募集やネット上の教学実施及び地方学習センターの補助的学習支援などを展開している。

校内的には、ネット上の教育は遠隔教育と継続教育の管理システムに配属されている。現在、ネット上の教育実施及びその運営は、発展企画部、教学経営部、資源建設部、技術サービス部門、学院事務室などの5つに任されている。最近では当学院の遠隔教育「十一五」発展計画の制定最中であり、教学と経営プロセスの規範化建設のために全力を注いでいる。

### (三)、インターネット上の継続教育

2002年、全国の「小中学校教員の継続教育ネットワーク」が本校に設置され、全国小中学校の教員の継続教育が行われてきた。そして、「学術、研修、運営の3つの優勢が絡み合う」、専門化したネットワーク式現代運営モデルを取ってきた。

## 三、現段階における学校遠隔教育の重点業務

### (一)、教授モデルの新設

中国は発展途上国で、経済、文化などの発展が不均等である。中国の遠隔教育は、発展地域のネットワーク技術の持ち主の需要に応じなければならないし、さらにネットワーク条件の未熟と使用技術が都市より落ちている農村メンバーの要求にも応じなければならない。これに照らし、本校は 2003 年から成人継続教育とインターネットを有効に利用する現代遠隔教育の新しいモデルを模索している。

新しい遠隔教育モデルの特徴は、伝統的な成人継続教育の本質的成功経験と現代ネット上の情報技術を総合的に運用することである。そして、両者のメリットを生かし、「1+1>2」の教育効率を実現することを目指し、条件の相違のメンバーたちの自主的学習の需要を満足させるのである。これは非常に難度のある事業で、目前は実践と探索の最中である。

### (二)、質の高い資源の創出

現代遠隔教育の質的保障はまず資源にある。条件の違うメンバーたちの学習活動に合わせ、我々はネット上のカリキュラム、テキスト、レーザーディスクの3つの形式を採用した。その中で、ネット上のカリキュラムが資源の核心となって以下の3つの重点建設措置を行った。

#### 第一、管理を強化し3つを把握すること

入り口の把握、募集指標を公開し、質の高いプログラムを立てる。

プロセスの把握、見本審査と中期検査を行う。

出口の把握、専門家が審査し、一年後に結論を出す。

#### 第二、専門家の指導上の質の向上

各科目の内容は各科目専門家に頼る。

製作技術はネット技術専門家に頼る。

カリキュラム開発プロセスは教育専門家に頼る。

#### 第三、質の高い規制は政策に依頼すること

ネットカリキュラムは項目を立て管理する。

充分の開発経費を投入する。

質の高いカリキュラムの評価は多面的要素を配慮して認定する。

### (三)、ネットカリキュラム創出の成果

量的方面

質的方面

(東北師範大学遠隔学院提供資料)